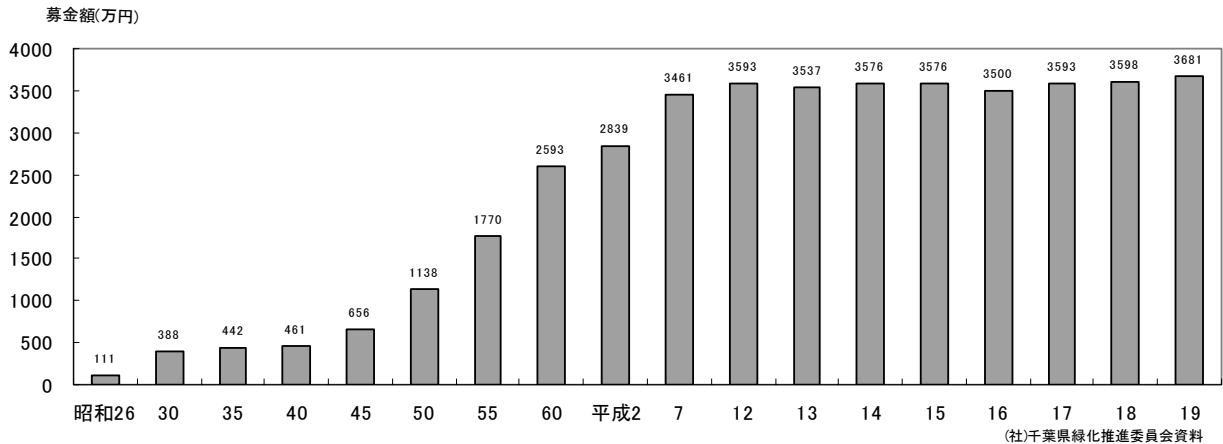


8. みどりづくり

緑の募金実績



—県民参加のみどりづくりを進める—

森林に代表されるみどりは、その恵みを通じて私たちの暮らしをさまざまな面から支えており、県民のみどりに対する関心やニーズは大きな高まりを見せている。

このようななか、みどりづくりへの県民参加の重要性について普及・啓発を図るため、県と社団法人千葉県緑化推進委員会は、春季の緑の募金期間中（3／1～5／31）に多彩な行事を展開している。

また、戦後の山林の復興を目標に昭和26年から始まった緑の羽根募金は、平成7年度制定された緑の募金法により「緑の募金」に引き継がれ、平成19年度の募金実績は36,813千円で、寄せられた募金は、各種の普及啓発やみどりづくりに役立てられている。

9. 里山活動

「千葉県里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例（里山条例）」に基づく里山活動を促進するため多様な取組みを行ってきた結果、里山活動協定の認定件数は平成19年度末現在で87件、対象となる里山の面積は約126ヘクタールとなった。

また、「里山条例」に定められた「里山の日」の行事として、第4回里山フェスティバルを5月の里山月間中に開催し、県民の間に広く里山活動への関心及び理解を深めるとともに、積極的に里山活動に参加する意識の高揚に努めた。

この期間中には、「里山となりわい」をテーマに東金市で開催された市民団体によるシンポジウムや県内6箇所で開催した里山体験に多くの県民が参加し、県民の里山活動についての理解を深めることができた。

里山活動の推進母体である「ちば里山センター」では、里山活動団体のネットワークを構築するとともに技術講習会や里山1日活動体験などのイベントの開催、里山相談や「ちば里山新聞」の発行などの事業を行い、里山活動団体の支援と県民の里山活動への参加を促進した。

また、土地所有者による管理が困難となった里山の情報収集し、里山情報バンクを通して里山活動団体などに提供している。